

教科目名 日本史 (History of Japan)

学科名・学年 : 全学科 1年

単位数など : 必修 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 学習保証時間 45時間)

担当教員 : 田中美穂, 中川祐志

授業の概要			
古代から現在まで日本の歴史の流れをつかみ, それぞれの時代について理解を深める. 近現代史を重視し, 日本の事柄だけに目を向けるのではなく, 世界における日本の位置づけ, および中国・韓国を中心とする近隣アジア諸国と日本との関係についても考える.			
達成目標		大分高専目標(A1), JABEE 目標(a)	
(1) 過去とのつながりを尊重しつつ, 現代を考える力を身につける.(定期試験)			
(2) 歴史を学ぶことで, 日本各地の地域性や日本社会の多様性について理解する.(定期試験)			
(3) 「世界の中の日本」「アジアの中の日本」の未来像を描き, 平和な世界の実現について考える.(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7	農耕社会の成立 古墳とヤマト政権 飛鳥の朝廷 律令国家の成立 平安朝廷の形成 荘園と武士 院政と平氏の台頭	古代史の流れを理解できる 律令国家体制について理解できる 大陸文化の導入と貴族的な都市文化の 繁栄について理解できる	【理解の度合い】
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9 10 11 12 13 14	前期中間試験の解答と解説 鎌倉幕府の成立 蒙古襲来と幕府の衰退 武士の社会と鎌倉文化 室町幕府の成立 幕府の衰退と庶民の台頭 戦国大名の登場	中世史の流れを理解できる 武士が支配する社会について理解できる 日本文化の諸要素の形成について理解 できる	【理解の度合い】
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
16 17 18 19 20 21 22	前期期末試験の解答と解説 織豊政権 幕藩体制の成立 幕政の安定と経済の発展 幕政の改革と幕府の衰退 元禄文化と化政文化 開国と幕末の動乱 明治維新と立憲国家の成立	近世史の流れを理解できる 中央集権的な政治体制の完成について 理解できる 近代への胎動について理解できる	【理解の度合い】
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24 25 26 27 28 29	後期中間の解答と解説 日清戦争と日露戦争 第一次世界大戦と日本 第二次世界大戦と日本 占領下の日本 高度成長の時代 激動する世界と日本	近現代史の流れを理解できる 日本の帝国主義と植民地支配について 理解できる 第二次世界大戦における日本の位置づ けについて理解できる 現代の日本社会と日本が抱える諸問題 について理解できる	【理解の度合い】
30	後期期末試験		【試験の点数】 点
30	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	授業中にノートをきちんと取り, しっかり復習をすること.		【総合達成度】
教科書	石井進ほか著, 『詳説日本史』山川出版社.		
参考図書			
関連科目	世界史(2年), 歴史学概説(5年), 歴史学特論 (専攻科1年)		
評価方法	定期試験により評価する. 評価が60点以上を合格とする.		【総合評価】 点